

令和5年度BRIDGE評価委員会（第4回：事前評価とりまとめ）
議事概要

- 日時 令和5年5月17日（水）14:00～16:00
- 場所 中央合同庁舎8号館6階非常勤議員室（630B）
（MS TeamsによるWeb会議併用）
- 出席者 篠原座長、上山座長代理、波多野委員、須藤委員
高原審議官、植木参事官、土岐参事官補佐

議事【非公開】

- (1) 令和5年度BRIDGE施策提案（6月配分）に係る事前評価について
- (2) 令和5年度BRIDGE施策提案（6月配分）に係る個別評価について
- (3) 今後のスケジュール
- (4) その他

○ 議事概要

(1) 令和5年度BRIDGE施策提案（6月配分）に係る事前評価

事務局から事前評価の総論部分（事前評価に係る経緯、事前評価の結果、事前評価に基づく今後の対応）について説明したところ、委員からの主な意見は以下のとおり。

○「データ連携に当たっては、DATA-EXを活用することを検討すること」ということだと表現が弱い。「データ連携を図ること。そのデータ連携を図るにDATA-EXを活用すること」と言わないと、検討しましたで終わってしまう。

○DATA-EXを活用するだけでなく、データのフォーマットを合わせることも検討して欲しい。同じ省の場合などにコネクタを挟むのは効率的でない。

○データ連携の基本方針などSIPの検討結果なども受けるような形にしてほしい。

データ連携の記載を修正した上で、事前評価の総論部分をとりまとめることについて、BRIDGE評価委員会として承認された。

(2) 令和5年度BRIDGE施策提案（6月配分）に係る個別評価

事務局から、5月8、11、12日にBRIDGE評価委員会で実施した各省庁からのヒアリングにおける評価委員の評価や意見等を踏まえ、施策提案42件に対する、総合評価（案）及び予算の妥当性評価（案）を説明したところ、委員からの主な意見は以下のとおり。

○No.4、No.11の施策については、中身としては評価が高いものの、BRIDGEの趣旨に合っていない。研究開発そのものであり、SIP第2期の成果の社会実装とは関係がない。No.4の施策は、大事なテーマであるからこそ、まずはKプロドと思う。それができない場合も、各省庁のもともとの予算でできたらよい。

○（事務局から、No.4について文科省が大面積化を目的にじゃなくて、アレイ化をしてレーザーを、サイズは変えずに9個以上並べて使うというふうに見直したとの補足について）今回文科省から変更があった施策を受けるかの判断は（再度提案があれば）9月にしたい。

○半分ぐらいの施策に対して、実施期間を短縮するよう意見を出しており、その周知徹底についてはっきりした方がよい。例えばNo.10のように、「事業期間は3年間ではな2年以内に前倒しすること」のようにし

かり記載しているので、それを条件としてはどうか。3年の期間が必要であればその条件を出してもらおう。何も出していないにもかかわらず、後から期間を3年とすることはない。

○No.17、No.18は、以前は大ざっぱな積算だったが、精査したように見える。

○No.20の施策は、内閣府として大事なので、ある程度支援したいことは理解するので予算配分は任せるが、予算要求額が2億円と積算が妥当ではないので評価としてはBである。農水省が取り組むべき案件であり、仮に多少増やしたりしても内閣府としては最大限増やしたんだから、農水省もちゃんとやるように言うべき。

○農水省のテーマは、本来だったら農水省本省がやるべきテーマをこっちに持ってくるというのが比較的多い。テーマは全体的に大事だと思うが、もう少し農水省で考えてほしいというのは言っておいてほしい。

○No.36の施策については、いろいろな厳しい意見があるのに、予算額がAとなっているのはなぜか。（事務局より、早期に社会実装するのであれば、1年目の予算額としては、ということと回答。）期間の設定の仕方を2年以内というように明確にしないと、だらだらと事業が継続すると思う。

○No.41、No.42は、最後、自走しないとずっと2期のテーマを引っ張ることになるので、「短縮する仕組みを構築し自走すること」と意見を修正する。

指摘があった施策提案に係る記載を修正した上で、各施策提案の総合評価及び予算の妥当性評価をとりまとめることについて、BRIDGE評価委員会として承認された。

（3）今後のスケジュール

事務局から、今後のスケジュール（案）を説明し、各省庁からは、事前評価の内容についての事実誤認や事前評価に基づく予算配分（案）について意見があれば受け付けることとし、対応が必要な場合には、篠原座長、須藤プログラム統括に相談し、評価委員会の委員に報告することを説明したところ、承認された。

—以上—